

「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」
推進校実施報告書

- 1 学校名：埼玉県立上尾特別支援学校
- 2 実施日時：2018（平成30）年11月22日（木）10：15-12：00
- 3 対象：生徒約120名（中学部、高等部）
- 4 派遣アスリート：櫛山 七菜子 さん
（パラ卓球 2018年世界大会 個人3位、団体2位）
小久保 寛太 さん
（パラ陸上幅跳び 2018年アジア大会 2位）

5 授業内容：講演、実技

2018（平成30）年11月22日（木）に、埼玉県立上尾特別支援学校にて、パラ卓球の櫛山七菜子さんとパラ陸上幅跳びの小久保寛太さんの講演と実技体験が行われました。

櫛山さんの講演では、卓球を始めた経緯、試合で外国に行った際に感じたこと、卓球の魅力などについてお話されました。また、現在でも競技を続ける櫛山さんは、仕事と競技の両立がとても大変だが、卓球を通して世界各国にたくさん友だちができて嬉しいから頑張れるとおっしゃっていました。

小久保さんの講演では、小久保さんの指導をされている樋口進太郎コーチ（本庄特別支援学校教諭）も一緒に登壇され、陸上競技の魅力、パラ陸上の種目の紹介、2018年夏に出場したアジア大会の思い出、そして日々の練習の様子などについてお話されました。また、小久保さんが持参したアジア大会のときに獲得した銀メダルも見せていただきました。さらに、小久保さんが日本記録を出したときの映像を流した際には、生徒から大きな歓声があがっていました。

続いて、櫛山さんによる卓球のデモンストレーションが行われました。櫛山さんと櫛山さんの保護者の方とのラリーを披露した後に、代表生徒や校長先生と櫛山さんの対決が行われました。櫛山さんの返球はとてもスピードが速かったのですが、生徒もくらいついている様子が見られ、ラリーが続くと緊張感が体育館全体に広がっていきました。また、高等部の代表生徒がスマッシュを決めた際には、大きな歓声があがっていました。校長先生との対決では、校長先生を応援する声と櫛山さんを応援する声が響きわたり、とても盛り上がりました。

さらに、10分間の休憩の後、参加生徒を2グループに分けて、ボッチャ体験（体育館）と陸上体験（グラウンド）を行いました。ボッチャ体験では、ルール説明を行った後に、4つのグループに分かれて試合が行われました。ボッチャを行うのが初めての生徒も多かったことから、先生方による手作りの簡易型ボッチャ体験が行われました。通常のボッチャのルールでは的となるジャックボールが得点の基準となるのですが、簡易型ボッチャでは、床に引かれた同心円状的に点数が振られており（中心に近づくほど点数が高い）、その点数のところに投じたボールが入れば得点になる、というルールでした。また、肢体不自由の方がボッチャを行うときに用いる補助具であるランプも先生方が手作りされたものが用意されていました。生徒達は、一球一球を集中して投じており、真剣な雰囲気で行われていきました。一方、陸上競技体験では、小久保さんと樋口コーチの指導の

元、実際に小久保さんが行っているストレッチの方法や小久保さんによる幅跳びのデモンストレーション、さらには小久保さんの記録を目指した幅跳び体験が行われました。目の前で小久保さんの試技を見た生徒は、助走のスピードや踏み切りの音、そして滞空時間の長さに驚いた様子でした。また、実際に小久保さんの記録を目指して幅跳びを行った生徒は、小久保さんの記録の凄さを身をもって感じている一方で、思ったより自分の記録が伸びずに悔しい表情を浮かべる生徒も見られました。

実技体験終了後には、体育館に再度集合し、閉会式が行われました。小久保さんのコーチである樋口さんから、努力することは大切だが、それ以上に楽しく活動することが大切である、というメッセージが生徒に送られました。代表生徒の挨拶では、樋山さんと小久保さんへの感謝の気持ちとともに、東京パラリンピックの出場を目指して頑張ってください、とエールも送られました。

6 授業の様子



【 樋山さんの講演 】



【 小久保さんの講演 】



【 卓球のデモンストレーション 】



【 簡易型ポッチャ体験 】



【 手作りランプ 】



【 小久保さんの記録を目指した幅跳び体験 】